

株式会社イオンファンタジー

決算補足資料

2019年2月期



目次

1. 会社概要
2. 2019年2月期 連結決算概要
3. 2019年2月期 重点取組み概要
4. 目指す姿と2020年2月期の
具体的施策
5. 2020年2月期 連結業績予想

【参考資料】 単体資料



会社概要



株式会社イオンファンタジー

2

会社概要

- 1) 商号 株式会社イオンファンタジー
- 2) 所在地 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1
- 3) 設立 1997年2月14日
- 4) 資本金 17億59百万円
- 5) 株主 イオン株式会社 65.6%、その他 34.4%
- 6) 市場 東京証券取引所 市場第一部
- 7) 事業 ショッピングセンター内「アミューズメント施設」
及び「インドアプレイグラウンド」の運営



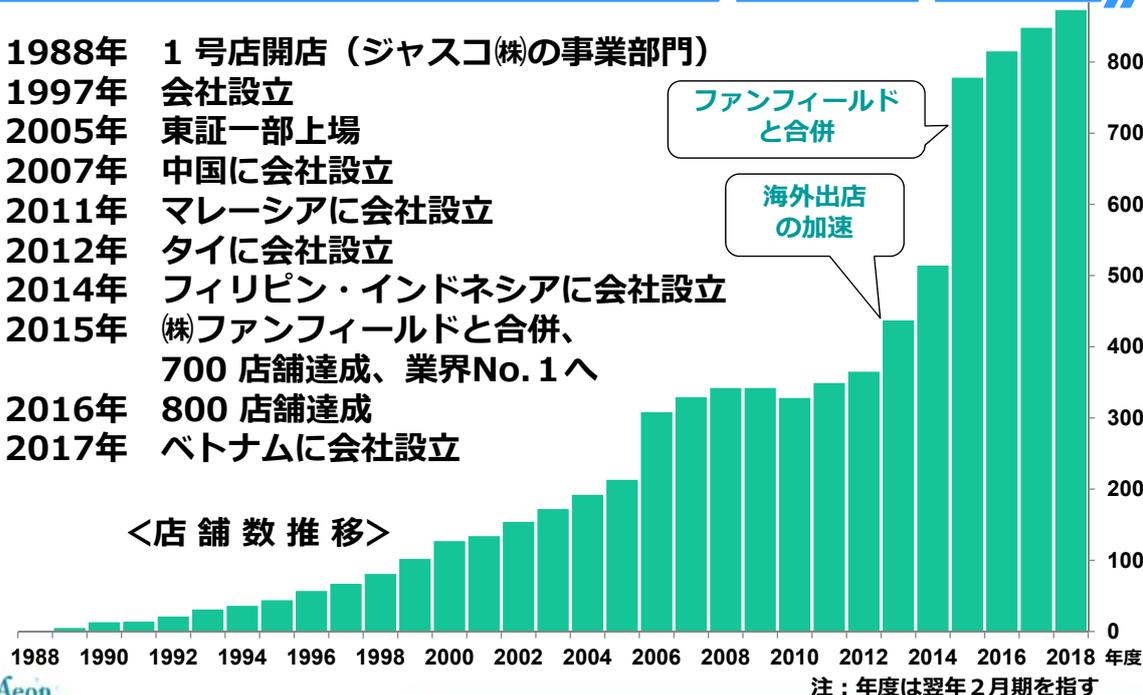
株式会社イオンファンタジー

3

沿革



- 1988年 1号店開店（ジャスコ(株)の事業部門）
- 1997年 会社設立
- 2005年 東証一部上場
- 2007年 中国に会社設立
- 2011年 マレーシアに会社設立
- 2012年 タイに会社設立
- 2014年 フィリピン・インドネシアに会社設立
- 2015年 (株)ファンフィールドと合併、
700店舗達成、業界No.1へ
- 2016年 800店舗達成
- 2017年 ベトナムに会社設立



2019年2月期 連結決算概要



2019年2月期の連結業績

- 売上高は**過去最高**。
- 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも前年を下回る。

(単位：百万円)

	2018年2月期 (前期)	2019年2月期 (当期)	前期比 増減率
売上高	72,174	74,243	+2.9%
売上総利益	10,811	10,004	△7.5%
営業利益	5,970	4,651	△22.1%
経常利益	5,598	4,299	△23.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,986	1,865	△37.5%
1株当たり当期純利益	151.53円	94.58円	56.95円減

セグメント情報

(単位：百万円)

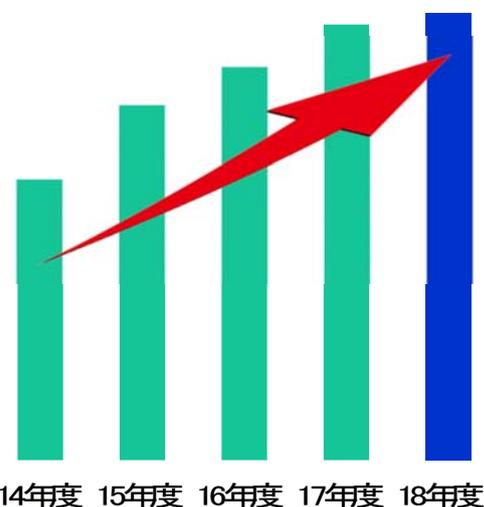
	国内	海外			連結 調整	連結計
		中国	アセアン	計		
売上高	59,153 (+0.6%)	9,647 (+6.7%)	5,734 (+22.3%)	15,382 (+12.0%)	△291 (-)	74,243 (+2.9%)
営業利益	4,363 (△1,265)	58 (△245)	233 (+190)	291 (△55)	△3 (+1)	4,651 (△1,319)

売上高 () 内は前年同期比増減率
営業利益 () 内は前年同期増減額

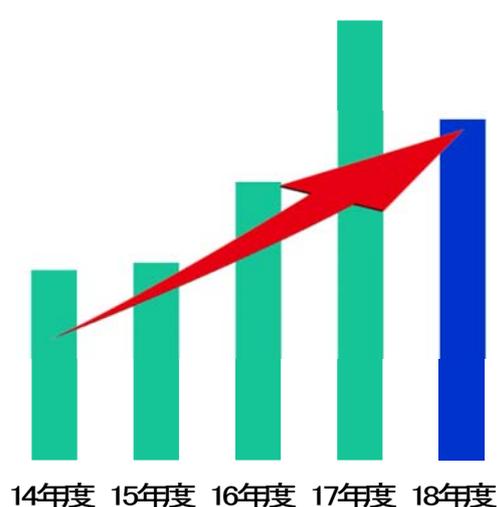
売上と営業利益の推移

■ 8期連続増収、過去3番目の利益水準。

売上



営業利益



Aeon Fantasy 株式会社イオンファンタジー

8

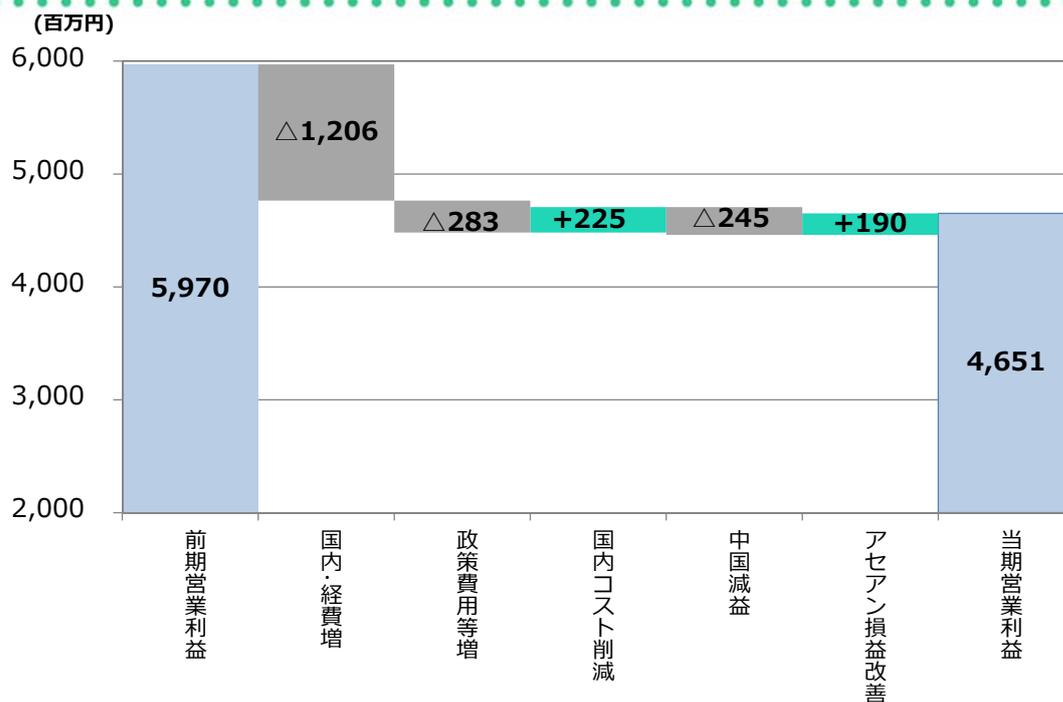
トピックス

国内事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存店伸び率3%増を計画するも±0%に終わる。一方で経費（人件費、減価償却費）増加に対するコントロールが不足。第4四半期に回復基調となるがカバーするまでには至らず。 ・ オンラインクレーンゲーム「モーリーオンライン」が好調に推移、初年度より黒字化を達成。
中国事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みに実施した、ディスカウントセール of 反動による単価低下の回復遅れにより、第3四半期会計期間が大幅な営業損失となる。第4四半期に回復基調となるも減益。 ・ 新業態「MOLLY WAKA」「莫莉幻想研究島」を出店。 ・ 「キッズーナ」にてアセアンでの成功モデルを取り入れた活性化を実施、好調に推移（活性化後10.8ポイントの効果）
アセアン事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシアは新店が好調に推移し大幅な増益、フィリピン、ベトナムも活性化効果などにより増益、タイはキッズーナの活性化効果により営業損失が大幅に改善。 ・ マレーシアは夏の繁忙期に伝染病の流行により減益となるも、アセアン事業合計では大幅な増益となる。

Aeon Fantasy 株式会社イオンファンタジー

9

営業利益 要因別増減分析



連結貸借対照表 (2019年2月末日現在)

(単位：百万円)

	2018/2月期末		2019/2月期末		期首に対する増減
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	10,347	22.0%	9,936	20.3%	△411
固定資産	36,580	78.0%	38,991	79.7%	+2,410
資産合計	46,928	100.0%	48,928	100.0%	+1,999
流動負債	11,082	23.6%	13,280	27.2%	+2,198
固定負債	7,476	15.9%	6,427	13.1%	△1,049
負債合計	18,559	39.5%	19,708	40.3%	+1,148
純資産合計	28,369	60.5%	29,220	59.7%	+851
負債純資産合計	46,928	100.0%	48,928	100.0%	+1,999

連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2018/2期	2019/2期	前期比増減
営業活動によるキャッシュフロー	10,672	9,588	△1,083
税金等調整前当期純利益	5,080	3,441	△1,639
減価償却費	7,206	8,356	+1,149
法人税等の支払額	△1,738	△2,289	△550
投資活動によるキャッシュフロー	△11,416	△12,069	△652
有形固定資産の取得による支出	△11,279	△11,994	△715
財務活動によるキャッシュフロー	△506	1,862	+2,368
借入による純増減額	176	2,826	+2,650
配当金の支払額	△630	△985	△354
現金及び現金同等物の増減額	△1,309	△598	+711
現金及び現金同等物の期首残高	6,442	5,132	△1,309
現金及び現金同等物の期末残高	5,132	4,533	△598

店舗数の状況（2019年2月末日現在）

	Mollyfantasy	kidzoona	その他	計
日本	399	6	43 (2)	448 (2)
中国	154 (4)	50	13	217 (4)
マレーシア	55	28	9	92
タイ	7	18	1	26
フィリピン	0	52	0	52
インドネシア	1	23	1	25
ベトナム	4	5	1	10
カンボジア	1 (1)	2 (2)	0	3 (3)
海外計	222 (5)	178 (2)	25	425 (7)
合計	621 (5)	184 (2)	68 (2)	873 (9)

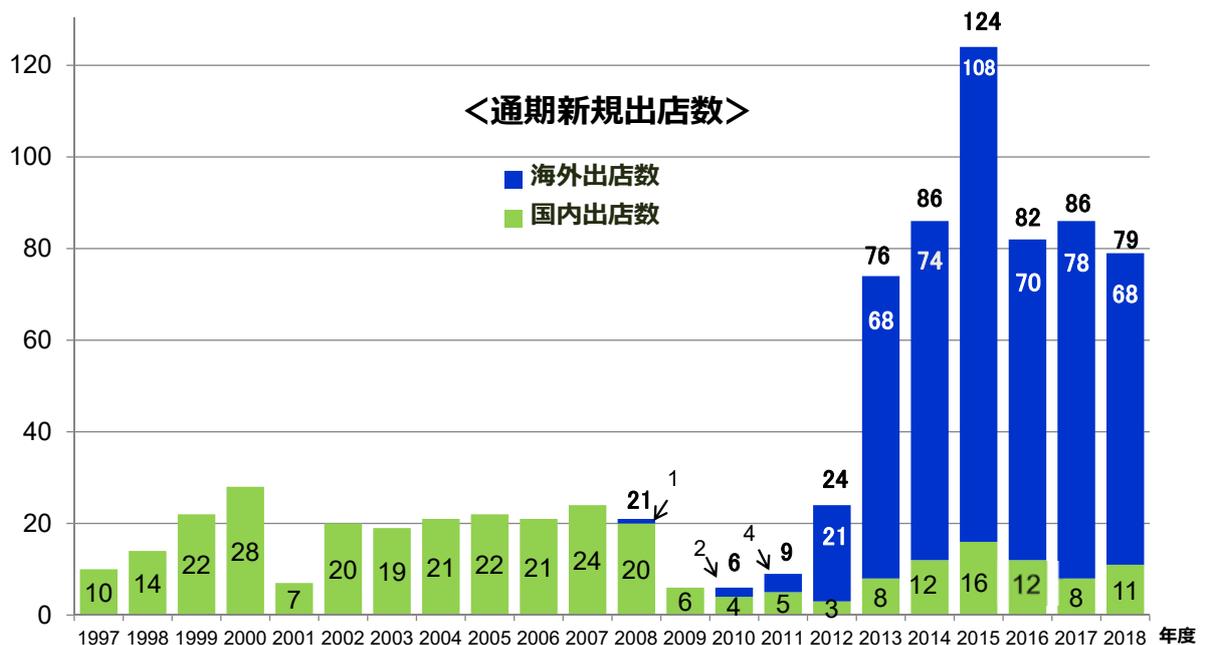
注：（ ）内数値は内数で、FC等（業務提携契約、業務委託契約、ライセンス契約を含む）の店舗数です。

2019年2月期 重点取組み概要



新規出店

■ 2018年度の新規出店は79店舗。



当期の新店が好調

- 新たな取組み、イオンシネマと融合した施設「PALO津南店」を含め、新規出店10店舗の売上が計画比110.5%と好調に推移。

「PALO津南店」



「モーリーファンタジーいわき小名浜店」



「モーリーファンタジー座間店」

「モーリーファンタジー津南店」



株式会社イオンファンタジー

43店舗の活性化及び増床を実施

- 「モーリーファンタジー」の内装と品揃えを一新する大型の活性化を43店舗実施。（前年は42店舗実施）
- 母店空床への増床の推進（会計年度黒字化前提の物件）



活性化実施店舗の
前年比
106.7%

未実施店舗の
前年比
99.1%

**+7.6ポイントの
効果**



株式会社イオンファンタジー

国内 遊戯機械売上の伸長

- 遊戯機械売上の2019年2月期の既存店伸び率は+2.2%増。
(2015年比 : 120.8%)

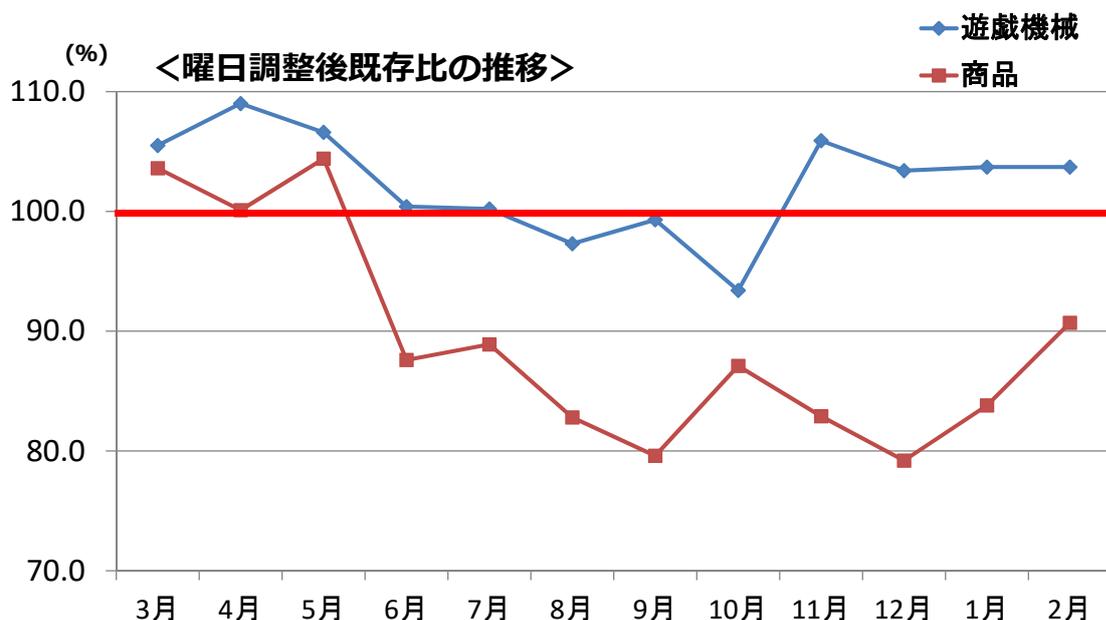


株式会社イオンファンタジー

18

国内 遊戯機械売上・商品売上の既存比推移

- 遊戯機械売上は、11月度以降既存前年を上回り回復基調。



株式会社イオンファンタジー

19

当社オリジナル景品の展開強化

■ 人気コンテンツとのコラボによる当社オリジナル景品の展開強化。

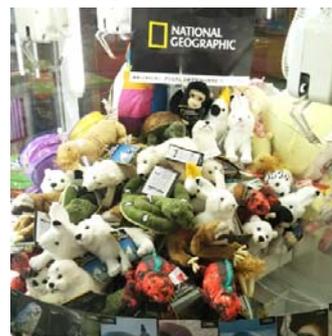
人気YouTuber
『HIKAKINぬいぐるみ』



『サーティワンアイスクリーム
スイーツ』

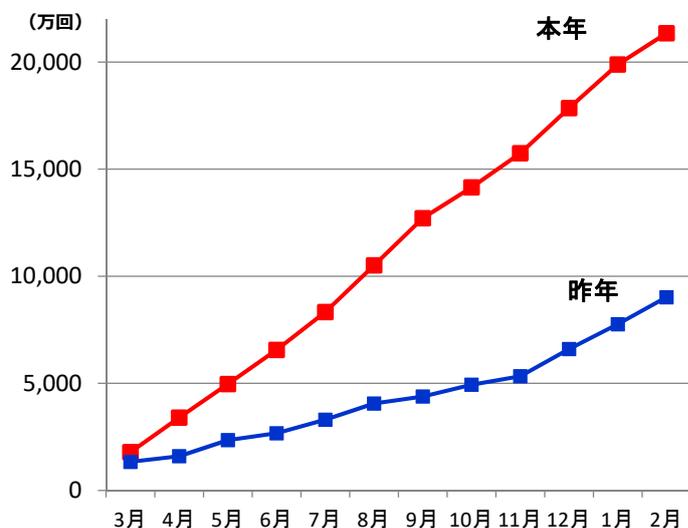


『ナショナルジオグラフィック』
ぬいぐるみ



YouTube を活用した動画プロモーション

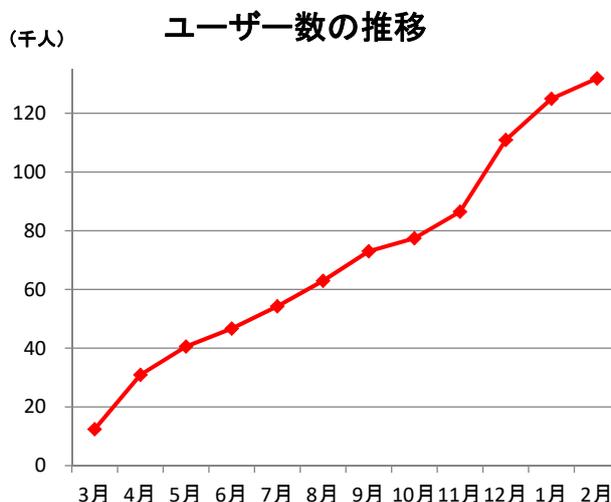
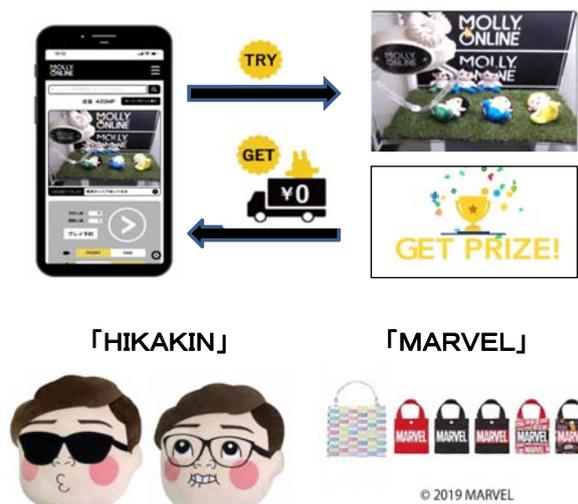
■ 当社オリジナル景品紹介などモーリーファンタジー関連動画の年間累計再生回数 2億1,346万回。 (昨年：年間累計 9,020万回)



「MOLLY.ONLINE」が好調に推移



- 売上は好調に推移。直近は計画の約3倍の売上規模。
(2月末のユーザー数 131,000人)
- 初年度より黒字化を達成。



海外の業績

- 中国事業は、夏休みのディスカウントセールによる反動が大きく第4四半期には回復基調となるもカバーしきれず減益。
- アセアン事業は、フィリピン、インドネシア、ベトナムは増益、タイは活性化効果により改善、マレーシアは減益となるも合計では増益。

<国別の業績>

(単位：百万円、%)

	中国		マレーシア		タイ		フィリピン		インドネシア		ベトナム
	2018 2月期	2019 2月期	2019 2月期								
既存 伸び率	+7.4	△0.3	+9.8	△0.2	+16.2	+9.7	+5.1	+0.7	+1.1	△2.8	-
売上高	9,040	9,647	2,246	2,517	762	727	1,079	1,387	503	800	302
店舗利益	1,293	1,122	505	533	△125	9	162	145	157	246	100
販管費	989	1,064	248	289	102	116	140	113	107	147	91
営業利益	304	58	256	243	△227	△107	22	31	49	99	8

中国事業における出店拡大

- 2019年2月期に33店舗の新規出店。



24

26店舗の活性化を実施（中国）

- 「モーリーファンタジー」のプライズコーナーの拡大と品揃え強化。
- 「キッズーナ」6店舗をアセアンでの成功モデルで活性化。
(+18.3ポイントの効果)



活性化実施店舗の
前年比
110.4%

未実施店舗の
前年比
99.6%

**+10.8ポイントの
効果**

25

新業態『MOLLY WAKA』『莫莉幻想研究島』を開発

- 「ワクワク、ドキドキ、美味しい食べ物とサプライズ満載のサーカステーマレストラン」『MOLLY WAKA』を杭州、北京に2店舗出店。
- 「あそびとまなび」が融合したテーマパーク『莫莉幻想研究島』を安徽省合肥に出店。

MOLLY WAKA

莫莉幻想研究島

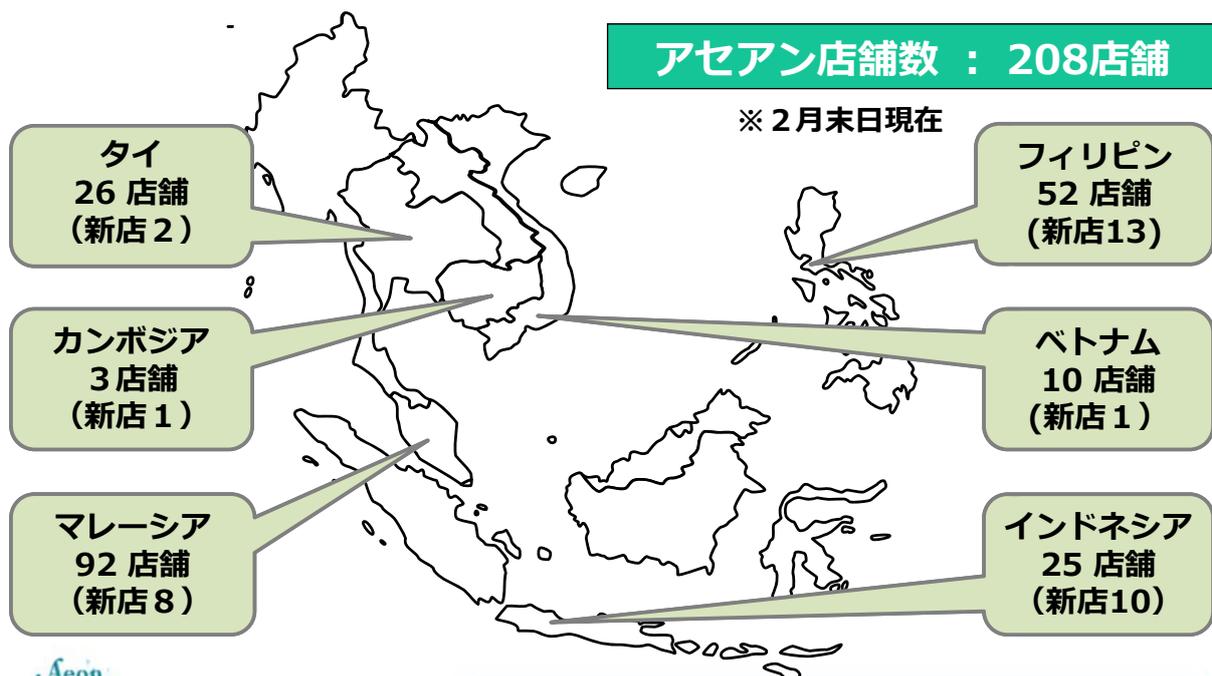


株式会社イオンファンタジー

26

アセアン事業における出店拡大

- 2019年2月期に35店舗の新規出店。



株式会社イオンファンタジー

27

当期の新店が好調（インドネシア）

- 「キッズーナ」のニューモデルを中心に10店舗を新規出店。
- スマトラ島（2店舗）、カリマンタン島（3店舗）へ初進出。
- 10店舗合計で売上計画比118%と好調に推移、初年度黒字化を達成。



BAY WALK MALL



JOGTA CITY MALL



BIG MALL



OPI MALL



株式会社イオンファンタジー

キッズーナ活性化により大幅改善（タイ）

- キッズーナを中心に9店舗を活性化。
（トイコーナー、休憩コーナーを刷新、新規に「ボールタッチ」
「なりきり美容室」などを導入）



活性化実施店舗の
実施後前年比
118.9%

実施前の
前年比
98.6%

**+20.3ポイントの
効果**



株式会社イオンファンタジー

目指す姿と 2020年2月期の具体的施策

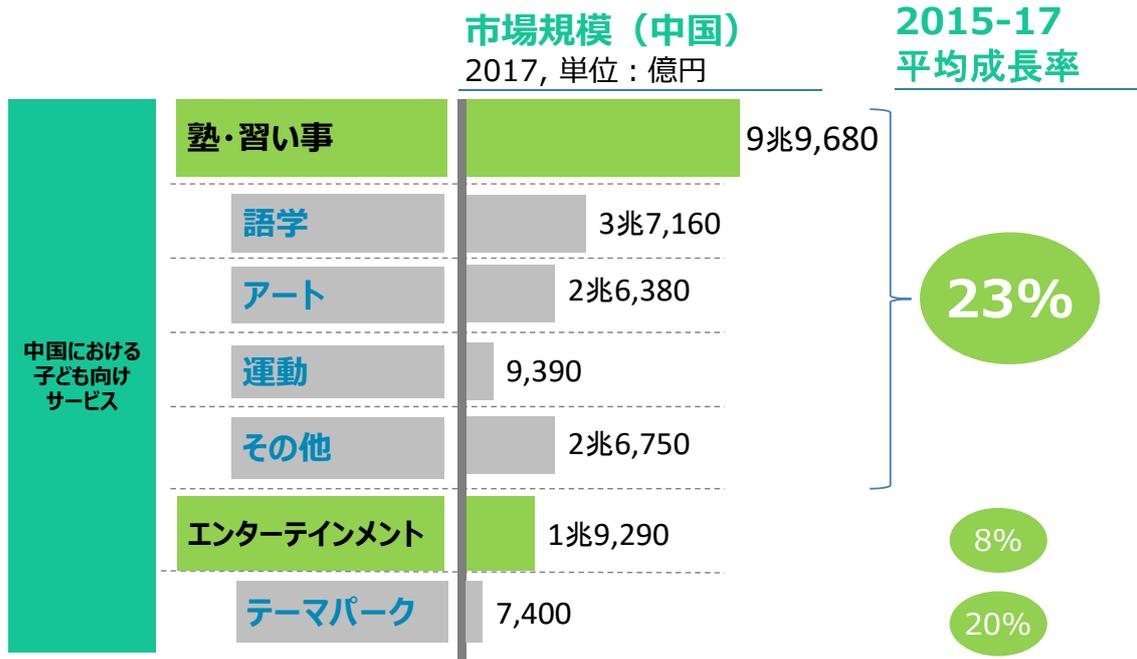


目指す姿

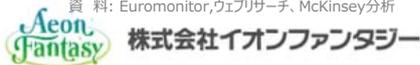
子どもと家族の笑顔を広げるために
世界中に楽しい「あそびとまなび」を届ける
オンリーワンのエデュテイメント企業

方向性

■ 中国においてまなびの市場は急速に拡大している

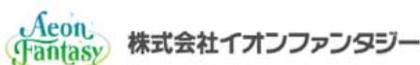
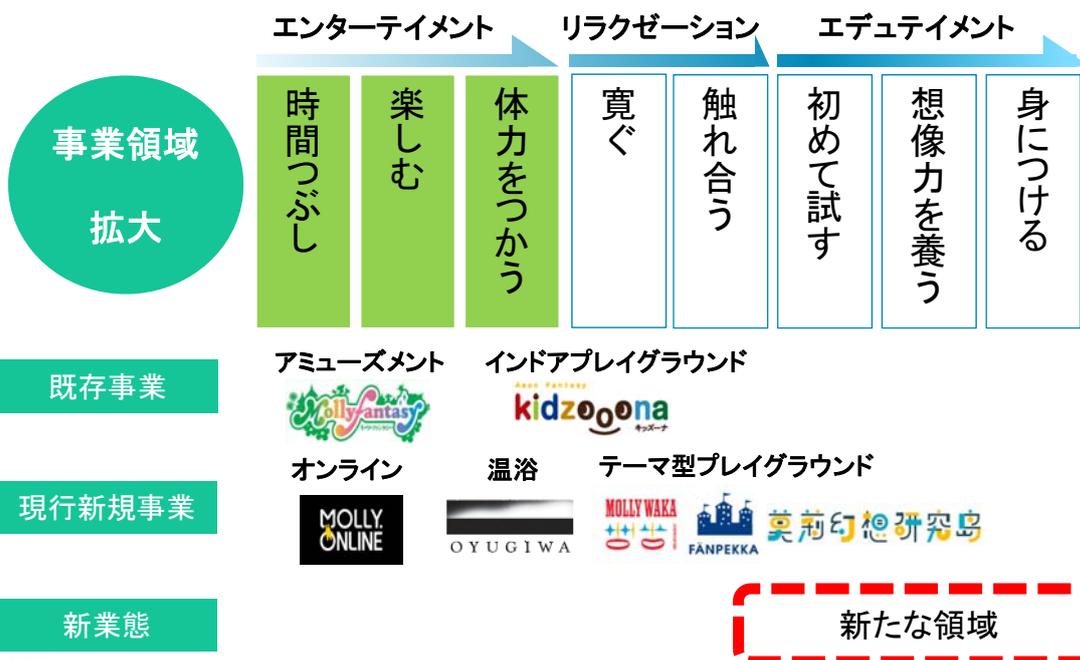


資料: Euromonitor, ウェブリサーチ, McKinsey分析

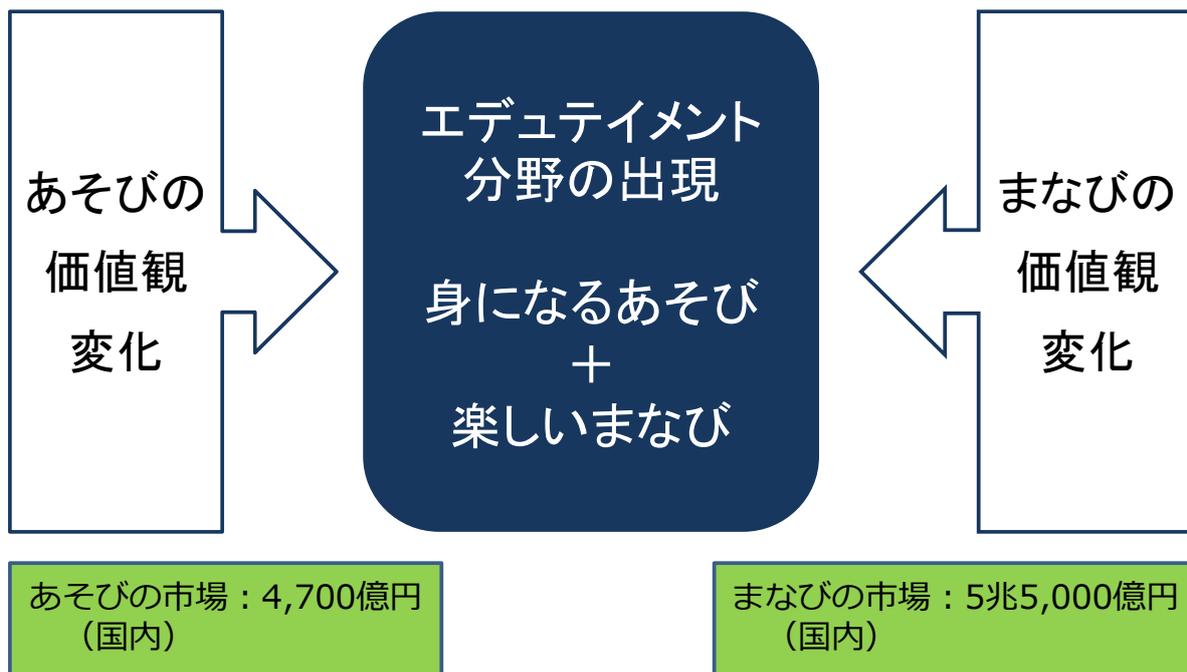


事業領域の拡大と進化

■ 子どもとその家族にフォーカスして事業領域の拡大・進化を図る



エデュテイメント分野の可能性



融合による価値向上

- イオンファンタジーならではの楽しい「あそびとまなび」



コト消費集積の実現例



20/2期具体的施策（新規出店90店舗）

- 国内事業・・・未開拓チャネルへの出店強化
- 海外事業・・・エリアドミナントの拡大

国内 12店舗

グループ外への出店
(百貨店、HC等)



中国 30店舗

内陸部への出店
(四川省、重慶市)



アセアン 48店舗

出店重点国
(インドネシア・フィリピン)



20/2期具体的施策（100店舗の活性化）

国内 **40**店舗

海外 **60**店舗

店舗年齢7.6年の維持



アセアンの成功モデルを
中国へ水平展開



株式会社イオンファンタジー

38

20/2期具体的施策（他社にマネできない商品の拡大）

■ オリジナル遊具の売上構成比 目標 40%（18年度 35.9%）

<ゲーム機>



<プライズ景品>

ユーチューバー
コラボ商材

メーカー
コラボ商材



株式会社イオンファンタジー

39

20/2期具体的施策（中国事業改革）

■ 合併会社化による事業拡大と新規事業の推進

リデンプション方式の導入



ゲームの結果に応じて、
景品交換/ポイント交換が可能

プライズ部門の拡大



ゲーム機品揃えの拡充



20/2期具体的施策（モーリーオンラインの拡大）



売上高 **2** 倍（2018年度比）

海外市場へ拡大

20/2期具体的施策（国内の消費税増税対策）

■ 消費税増税による影響額はコスト削減により吸収

(単位：百万円)

2019年度利益影響額	290
-------------	-----



(単位：百万円)

対策額 合計 (以下はその主な内容)	327
部品等の一括購入による単価引下げ	66
電気工事費等の内製化	12
遊戯機械配送コストの効率化	17
業務効率化に人時コストの削減	98



株式会社イオンファンタジー

42

2020年2月期

連結業績予想



株式会社イオンファンタジー

43

2020年2月期の連結業績予想

(単位：百万円)

	2019/2月期 実績	2020/2月期 予想	前期比 増減率
売上高	74,243	78,000	+5.1%
営業利益	4,651	5,400	+16.1%
経常利益	4,299	4,750	+10.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,865	2,150	+15.3%
1株当たり当期純利益	94.58円	109.03円	14.45円増
1株当たり配当金	50円	50円	±0円
R O E	6.5%	7.3%	+0.8%

セグメント別連結業績予想

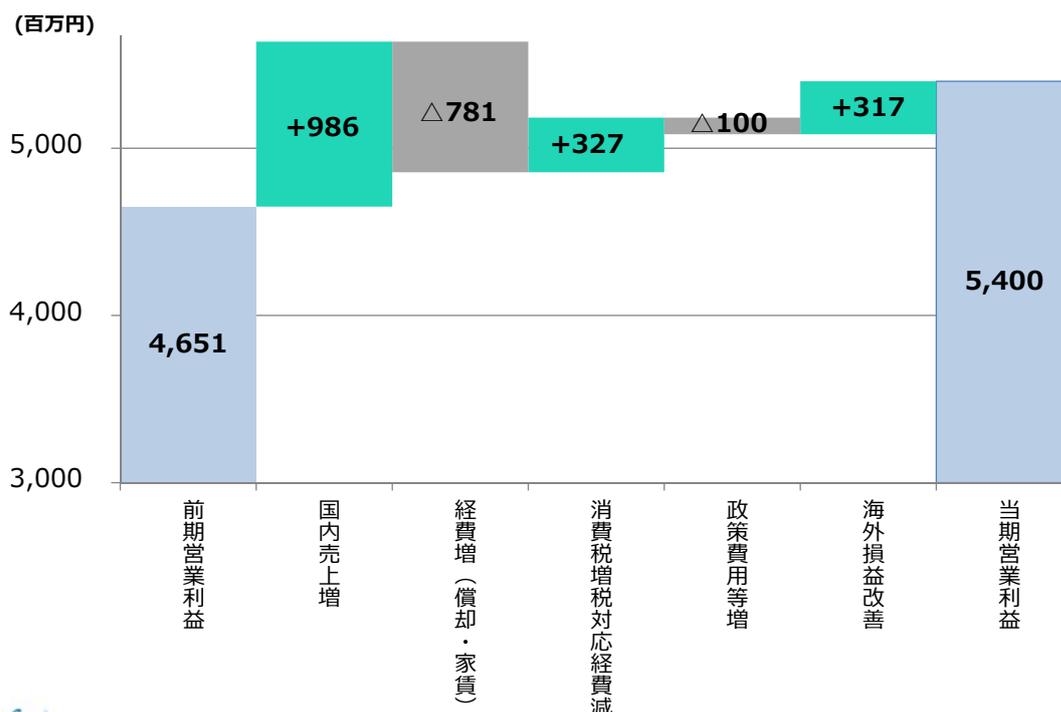
(単位：百万円)

	国内	海外		計	連結 調整	連結計
		中国	アセアン			
売上高	61,000 (+3.1%)	10,200 (+5.7%)	7,100 (+23.8%)	17,300 (+12.5%)	△300 (-)	78,000 (+5.1%)
営業利益	4,800 (+436)	260 (+201)	350 (+116)	610 (+318)	△10 (△6)	5,400 (+748)

前提 ■年間出店数 国内 12店舗 中国 30店舗 アセアン 48店舗
 ■既存店売上 国内 101% 中国 104% アセアン 105%

売上高 () 内は前期比増減率
 営業利益 () 内は前年増減額

営業利益増減要因



株式会社イオンファンタジー

46

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。



株式会社イオンファンタジー

47

単体資料



株式会社イオンファンタジー

1

2019年2月期の業績（単体）

参考資料

(単位：百万円)

	2018/2月期 (前期)	2019/2月期 (当期)	前期比 増減率
売上高	58,819	59,153	+0.6%
売上総利益	8,951	7,957	△11.1%
販管費	3,323	3,594	+8.1%
営業利益	5,628	4,363	△22.5%
営業外損益	△128	13	—
経常利益	5,500	4,376	△20.4%
税引前当期純利益	5,118	3,211	△37.3%
当期純利益	3,224	1,673	△48.1%



株式会社イオンファンタジー

2

会計上の売上高詳細（単体）

参考資料

（単位：百万円）

	2019/2月期		前期比	既存比
	実績	構成比		
遊戯機械	49,995	84.5%	103.1%	102.2%
商品（物販）	8,348	14.1%	87.9%	89.0%
委託	140	0.2%	94.8%	—
その他	138	0.2%	—	—
遊戯施設関係合計	58,622	99.1%	100.8%	100.0%
その他	530	0.9%	77.0%	—
売上高合計	59,153	100.0%	100.6%	100.0%



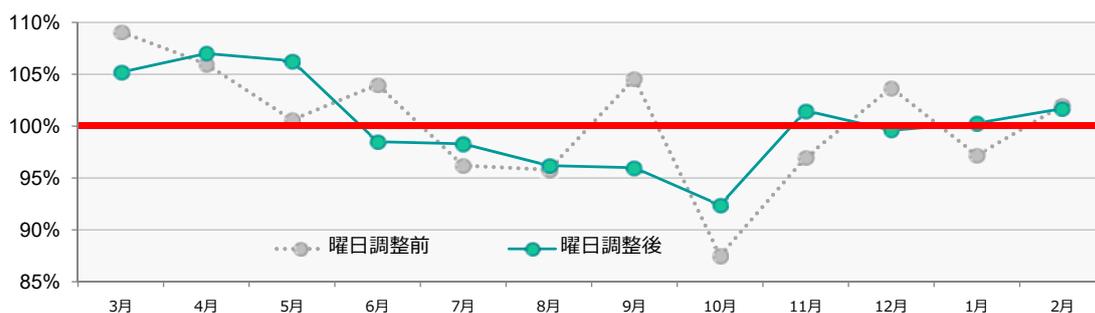
株式会社イオンファンタジー

3

既存店売上高前年比の月次推移（単体）

参考資料

FY2018 1Q~2Q	3月	4月	5月	6月	7月	8月
曜日調整前	109.1%	106.0%	100.6%	104.0%	96.2%	95.8%
曜日調整後	105.2%	107.0%	106.3%	98.5%	98.3%	96.2%
FY2018 3Q~4Q	9月	10月	11月	12月	1月	2月
曜日調整前	104.6%	87.5%	97.0%	103.7%	97.2%	102.0%
曜日調整後	96.0%	92.4%	101.5%	99.6%	100.3%	101.7%



株式会社イオンファンタジー

4

部門別売上動向（単体）

参考資料

（単位：％）

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		2019年2月期	
	売上高 構成比	既存比								
時間制遊具	4.3	105.2	4.5	98.1	4.2	92.4	3.9	94.4	4.2	97.5
体感	7.2	92.5	7.3	99.2	7.2	98.2	6.8	101.8	7.1	97.8
カード	14.5	101.8	11.5	85.5	13.1	82.3	11.8	83.2	12.7	88.1
メダル	22.9	98.8	25.6	99.3	24.0	96.9	23.3	100.3	24.0	98.9
プライズ	45.7	115.3	45.7	100.6	47.1	100.8	50.2	106.6	47.2	105.5
シール	2.8	90.0	2.4	95.2	2.2	98.3	2.1	98.8	2.4	95.0
カプセル玩具	0.9	89.5	0.8	85.9	0.9	91.6	0.9	95.5	0.9	90.5
遊戯施設売上計	100.0	105.5	100.0	97.9	100.0	96.3	100.0	100.6	100.0	100.0

※モーリーオンラインは除く



株式会社イオンファンタジー

5

四半期毎の収益の推移（単体）

参考資料

（単位：百万円、％）

	2019年2月期 第1四半期	増減率 (%)	第2四半期	増減率 (%)	第3四半期	増減率 (%)	第4四半期	増減率 (%)
売上高	14,403	+4.7	15,739	△1.3	13,503	△2.8	15,506	+1.9
売上原価	12,761	+5.1	13,182	△1.6	12,261	+3.0	12,976	+4.4
売上総利益	1,642	+1.2	2,556	△0.5	1,242	△37.2	2,530	△9.4
販管費	907	+5.9	867	0.0	910	+12.1	909	+13.4
営業利益	735	△4.1	1,689	△0.8	332	△71.6	1,620	△18.6
営業外損益	△14	-	△1	-	4	-	10	+48.0
経常利益	720	△3.0	1,688	+6.6	336	△71.3	1,630	△18.4
特別損益	△282	-	203	-	△886	-	△200	-
税引前利益	437	+25.1	1,891	+4.8	△549	-	1,430	△37.2
法人税等	300	+7.2	546	+0.4	154	△61.8	154	△19.4
四半期純利益	137	+96.7	1,345	+6.7	△703	-	893	△44.5



株式会社イオンファンタジー

6

貸借対照表（単体）

参考資料

（単位：百万円）

	2018/2月期末		2019/2月期末		期首に 対する 増減
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	6,910	19.2%	6,569	17.8%	△341
固定資産	29,115	80.8%	30,258	82.2%	+1,143
資産合計	36,025	100.0%	36,827	100.0%	+802
流動負債	7,202	20.0%	7,293	19.8%	+90
固定負債	426	1.2%	450	1.2%	+24
負債合計	7,629	21.2%	7,744	21.0%	+114
純資産合計	28,396	78.8%	29,083	79.0%	+687
負債純資産合計	36,025	100.0%	36,827	100.0%	+802